

## 美術学部彫刻科

### 養成人材およびカリキュラム編成の方針

基礎的な彫刻の造形技術を習得し、素材の特性をフィジカルに学んでいき、作家としての創造活動ができる人材を養成する。現代における彫刻のありかたを探求するだけでなく、美術に関わる諸分野での指導的人材の育成も目標とする。石や木や金属など彫刻表現の基盤となる材料と深く関わりながら、既成の領域にとらわれず、それぞれの学生の資質を活かした創作研究について学ぶことができるカリキュラム編成としている。

### 求める入学者像

- ・造形力・構成力・表現力など美術全般の基礎能力を有する者
- ・現代の新しい感性と彫刻の創造に資する多様な能力を有する者
- ・様々な芸術表現について興味を持ち、感性豊かな者

### 卒業認定・学位授与の方針

最終年次の「卒業制作」を含めた所定の単位を修得した学生を卒業と認め、学士の学位を授与する。「卒業制作」の評価は、専任教員全員で卒業制作作品の審査・採点を行い、評価を決定する。

### カリキュラム構成

1～2年次を基礎過程とし、基本的な造形技術を習得するため塑造、石彫、木彫、金属の実技実習を行う。概念彫刻では、現代の彫刻表現のコンセプトや表現の広がりを学ぶ。2～3年次には「彫刻論」という座学を開設し、毎年彫刻科教員及び、学外から様々な作家やキュレーターなどを招聘する。3～4年次を専門課程とし、3つの講座と各素材及び専門領域に分かれ、指導教員の元に制作を深めていく。各自の制作プロセスを試しながら、表現の多様性を学ぶ。また、古美術研究を通して、日本彫刻史を体験し、起源を学ぶ。

### 教育目標

- ① 基礎的な技術の習得と発展。
- ② 豊かな教養を身につけ、現代における彫刻のありかたの考察と創造。
- ③ 国内外の美術史への理解。

年次	科目		ディプロマポリシー	教育目標
1～4年次	必修科目	彫刻研究Ⅰ～Ⅳ	1.2.5	①②③
2年次		彫刻論Ⅰ、Ⅱ		
3年次		彫刻論Ⅲ、Ⅳ、古典研究		
3年次		古美術研究		
4年次		卒業制作Ⅰ、Ⅱ		
1～4年次		自画像		
1～4年次	指定科目	美術解剖学 A-Ⅰ、Ⅱ 外国語科目	2.4	②
1～4年次	選択科目	共通科目	1.2.3.4	②